

平成 21 年 12 月 18 日

中部飼料株式会社

平成 22 年 1～3 月期の畜産配合飼料販売価格のお知らせ

平成 22 年 1～3 月期の畜産配合飼料販売価格については、以下の飼料原料・外国為替情勢などを踏まえ、平成 21 年 10～12 月期に対し、全畜種平均トン当たり 440 円値下げすることを決定いたしました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

飼料穀物

とうもろこしは大豊作が期待される状況で収穫期を迎えました。相場は豊作期待の中でゆるみましたが、収穫の遅れと 10 月の雨の影響もありますが、とうもろこしの需給よりも投機筋の動向が大きく影響する状況です。

蛋白原料

米国産大豆は史上最高の単収が期待される中、一時軟調になりましたが、中国の 4,000 万 t を越えるペースでの買付により強基調にあります。

海上運賃

中国の旺盛な船舶需要と投機筋の買付でガルフ-ジャパンのフレートは \$70/t に迫る高値で推移しております。

外国為替

外国為替は世界的な景気回復期待を背景に基軸通貨のドルを売り、リスク回避からの金融商品を買う動きから円高基調にあります。

* お問い合わせ先

中部飼料株式会社 仕入部（長野） TEL：045-585-1471

以上